

平成 29 年度(2017 年度)事業計画書
平成 29 年(2017 年)4月1日～平成 30 年(2018 年)3月 31 日

現代演劇の振興に関する事業

1. 現代演劇に関する公演、普及啓発事業

(1) 高校生のための巡回公演 (芸術文化振興基金)

昭和 49 年度より文化庁の国庫金補助事業として実施。平成 2 年度からは芸術文化振興基金<現代舞台芸術創造普及事業>として実施している。

巡回作品は、平成 28 年 9 月 23 日開催の選考会で選考。

企画／公益社団法人日本劇団協議会

平成 29 年 5 月～10 月 東京都ほか 2 府 20 県 4 作品 80 回

① 『 **オールライト** 』 制作／青年劇場 (25 回)

作／瀬戸山美咲 演出／藤井ごう

出演／武田史江、杉本光弘、奥原義之、岡山豊明、岡本有紀、山田秀人、藤城梓、
片平貴緑、沼田朋樹

② 『 **チャージ** 』 制作／銅鑼 (25 回)

作／田口萌 演出／西川信廣

出演／長谷川由里、渡部不二実、中村真由美、福江夏紀、鶴田尚子、久保田勝彦、
亀岡幸大

③ 『 **ジャンヌ・ダルク - ジャンヌと炎** 』 制作／東京演劇集団風 (20 回)

作／マテイ・ヴィスニェック 上演台本／ペトル・ヴドカレウ 演出／浅野佳成

出演／白根有子、栗山友彦、田中賢一、田中悟、佐藤勇太、工藤順子、木村奈津子、
石岡和総

④ 『 **ダイアル ア ゴースト -幽霊派遣会社-** 』 制作／うりんこ (10 回)

原作／エヴァ・イボットソン 脚色・演出／山崎清介

出演／原田邦英、大谷勇次、青山知代佳、柴田早苗、下出祐子、内田成信、新美英生、
宮腰裕貴、村井美奈、鷺見裕美

(2) 都立高等学校 定時制通信制課程演劇鑑賞教室 (東京都教育委員会主催事業)

平成7年度から都の委託公演として、定時制高校生を対象にした合同観劇を実施。平成28年度は青年劇場制作の『博士の愛した数式』を上演した。現在下記の内容で公募中。

企画／公益社団法人日本劇団協議会

演目／未定 (公募中)

平成30年1月24日(水)～26日(金) (3回) 会場＝銀座プロッサム中央会館

(3) 教育事業

現代演劇を普及するために教育的観点から推進する事業。

演劇と教育シリーズ vol. 9

学校等でコミュニケーション授業／演劇ワークショップを実践しているファシリテーターのワークショップを実際に体験し、終了後に参加者全員でディスカッションする「検証ワークショップ」のほか、演劇鑑賞教室や演劇教育を充実・発展させるため、様々な分野の関係者を招聘し、課題解決をはかるためのセミナー、シンポジウムを実施する。

セミナー「日本の学校教育の現状とこれから… 一演劇鑑賞の可能性を考える」

講師／児美川孝一郎 (法政大学キャリアデザイン学部教授)

平成29年4月17日(月) 会場＝芸能花伝舎 A3

(4) ステップアップ・プロジェクト (文化庁「戦略的芸術文化創造推進事業」)

国が提示した芸術文化振興における課題を解決し、我が国の芸術水準の飛躍的向上と優れた実演芸術の鑑賞機会の充実を図る事業。平成26年度からスタート。

主催／文化庁・公益社団法人日本劇団協議会 制作／公益社団法人日本劇団協議会

地方や離島・へき地において優れた実演芸術の鑑賞機会を提供する取組

劇場施設が充実していないことから、今まで優れた演劇に触れる機会の少なかった離島・へき地の居住者に、実演芸術の楽しさを伝えられるよう、鑑賞機会の充実を図ることを目的とした事業。平成26年度には『素劇 あゝ東京行進曲』を沖縄の離島で上演。

① 離島公演(長崎県)『西遊記』

作・演出／天野天街 (少年王者館)

プロデューサー／流山児祥 (流山児★事務所)

平成29年11月24日～11月26日(3回) 対馬交流センター内特設劇場

平成29年12月1日～12月3日(3回) 五島福江文化会館内特設劇場

② へき地公演(北海道)『砦』

原作／松下竜一『砦に拠る』 作・演出／東憲司

プロデューサー／岡田潔（トム・プロジェクト）

平成30年3月17日（1回） 陸別町タウンホール

平成30年3月19日（1回） 羅臼町公民館

平成30年3月21日（1回） 興部町総合センター

平成30年3月23日（1回） 歌登児童館フォレストピアホール

(5) 演劇による社会的包摂プロジェクト（文化庁「戦略的芸術文化創造推進事業」）

国が提示した芸術文化振興における課題を解決し、我が国の芸術水準の飛躍的向上と優れた実演芸術の鑑賞機会の充実を図る事業。平成29年度からスタート。

主催／文化庁・公益社団法人日本劇団協議会 制作／公益社団法人日本劇団協議会

高齢者、子育て中の保護者、青少年等を対象とした社会包摂のための文化芸術活動の充実につながる取組

劇団、劇場、NPOが協力し、社会的弱者が演劇的手法を用いたプログラムでもう一度社会参加できるよう奨励する事業。

① コミュニケーションワークショップ

対象：学童、高齢者、障がい者

日程：平成29年6月23日～7月2日、11月24日～12月3日

会場：朋友芸術センター

講師：西海真理

コーディネーター：夏川正一（朋友）

② 江戸糸あやつり人形ワークショップ

対象：青少年、高齢者

日程：平成29年6月～9月

会場：立川および小田原周辺、ノーマライゼーション小金井

講師：結城千恵、結城育子

コーディネーター：澤田麻希（結城座）

協力：NPO法人子どもと生活文化協会、認定特定非営利活動法人育て上げネット、
NPO法人地域の寄合所また明日、ノマの会（ノーマライゼーション小金井）

③ 若者自立支援演劇ワークショップ

対象：青年層

日程：平成29年5月～11月

会場：若者自立支援ルーム（大宮）、オリンピック青少年センター ほか

講師：佐藤尚子、佐藤文雄

コーディネーター：白木匡子（青年劇場）、小関直人（銅鑼）

協力：NPO法人さいたまユースサポートネット、NPO法人ワーカーズコープ

2. 現代演劇に関する人材育成事業

(1) 日本の演劇人を育てるプロジェクト

(文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」)

これまで実施してきた事業を再構築し、統括団体ならでの広い視野で様々な人材育成事業を行い、今後の演劇界を担う創造性豊かな新進芸術家(演劇人)を育成する。

主催／文化庁・公益社団法人日本劇団協議会 制作／公益社団法人日本劇団協議会

① 「日本の劇」戯曲賞 2017

最優秀賞に選ばれた作品は必ず上演される戯曲賞。平成22年度より文化庁の委託事業として実施。平成28年度は58作品の応募の中から一次選考で5作品が選ばれ、最終選考の結果、くるみざわしん氏の『同郷同年』が最優秀賞に決定した。

最終選考委員／板垣恭一、上村聡史、内藤裕敬、中屋敷法仁、宮田慶子(予定)

応募締切／6月30日 最終選考会／8月(一次選考は7月)

② 「日本の劇」戯曲賞 2016 最優秀作品上演公演

前年度の「日本の劇」戯曲賞最優秀賞作品を上演する事業。平成28年度は西史夏氏の『檸檬の島』を中屋敷法仁氏の演出で恵比寿・エコー劇場において上演した。

『同郷同年』

作／くるみざわしん

演出／宮田慶子

プロデューサー／仲村和生(演劇集団キャラメルボックス)

平成29年9月13日～18日(7回) 会場／恵比寿・エコー劇場

③ 新進芸術家海外研修の成果公演

文化庁新進芸術家海外研修制度(平成13年度までは芸術家在外研修、14年より20年度までは新進芸術家海外留学制度)により研修を行った若手芸術家に研修成果を発表する機会を提供するという事業。平成17年度より実施しているが、23年度からは新たな枠組みの中で実施している。

<シンガポール>『コギト』

作／フジール・スライマン 演出／成田独歩(平成14年度派遣)

プロデューサー／夏川正一(朋友)

平成30年2月14日～18日(7回) 会場／劇場 MOMO

④ 新進演劇人育成公演

舞台芸術分野の優れた新進演劇人で発表の機会に恵まれない者に、発表の機会を提供することにより、新進芸術家の育成を図る事業。平成 14 年度から文化庁の委嘱事業として実施していた「新進芸術家公演事業」を引き継ぎ「次世代を担う演劇人育成公演」として、平成 17 年度から 21 年度まで文化庁芸術団体人材育成支援事業として実施してきたが、平成 23 年度から再構築し、新たな枠組みの中で[劇作家部門][演出家部門][俳優部門]と部門別に実施することにより事業の趣旨を明確にし、さらなる成果を期待する事業。

[劇作家部門]

『 SCRAP 』

作(育成対象) / シライケイタ 演出 / 日澤雄介

プロデューサー / 流山児祥 (流山児★事務所)

平成 29 年 7 月 1 日～17 日 (19 回) 会場 / Space 早稲田

[演出家部門]

『 ヨークシャーたちの空飛ぶ会議 』

監修・原作 / 横内謙介 上演台本 / 坂本鈴 演出(育成対象) / 鈴木理沙

プロデューサー / 田中信也 (扉座)

平成 29 年 7 月 26 日～30 日 (7 回) 会場 / ザムザ阿佐ヶ谷

[俳優部門]

A 『 夜の学校 』

作 / 如月小春 演出 / 入谷俊一

プロデューサー / 斎藤真 (俳小)

平成 29 年 9 月 13 日～17 日 (8 回) 会場 / 萬劇場

B 『 ケンジ先生 』

脚本・演出 / 成井豊

プロデューサー / 仲村和生 (演劇集団キャラメルボックス)

平成 29 年 10 月 25 日～11 月 5 日 (13 回) 会場 / テアトル BONBON

C 『 ブランキ殺し 上海の春 』

作 / 佐藤信 演出 / 西沢栄治

プロデューサー / 流山児祥 (流山児★事務所)

平成 29 年 10 月 28 日～11 月 5 日 (10 回) 会場 / ザ・スズナリ

D 『二階の女』

原作／獅子文六 脚本／飯沢匡 演出／山上優

プロデューサー／小川浩（NLT）

平成 29 年 11 月 29 日～12 月 6 日（10 回） 会場／サンモールスタジオ

E 『森は生きている』

作／S.マルシャーク 翻訳／湯浅芳子 上演台本・演出／ふじたあさや

プロデューサー／森釗（俳優館）

平成 29 年 12 月 1 日～8 日（8 回） 会場／名古屋市千種文化小劇場

⑤ 新進演劇人集中講座

国内外の優秀な指導者によるワークショップ。将来を期待される全国の新進演劇人に広く門戸を開き、統括団体ならではの多様なシステムによる研修。

A 日本の近代・現代劇へのアプローチ 西川信廣ワークショップ

平成 29 年 7 月 3 日～16 日

会場／文学座稽古場

講師／西川信廣

コーディネーター／佐藤竜太郎（文学座）

B <英国発>演劇ワークショップ

平成 29 年 7 月 10 日～15 日

会場／スタジオニンバス又は都内スタジオ

講師／フランコ・フィギュレド、クウォン・ローク、テレザ・アラウジョ
クミコ・メンデル

コーディネーター／白坂恵都子（演劇集団キャラメルボックス）

C エデュケーションワークショップ 2017

平成 29 年 7 月 31 日～8 月 3 日

会場／朋友芸術センター

講師／西海真理、渡辺貴裕、絹川友梨

コーディネーター／夏川正一（朋友）

D 声優ワークショップ夏季集中講座

平成 29 年 8 月 18 日～27 日

会場／SET スタジオ、神南スタジオ ほか

講師／鈴木弘子、河口博、佐藤敏夫、藤山房伸、高桑一、林友博

コーディネーター／野村道子

E スタニスラフスキーシステムの基礎から学ぶワークショップ

平成 29 年 1 月 29 日～2 月 4 日

会場／青年劇場スタジオ結

講師：セルゲイ・シェンタリンスキー、ヴィクトル・ニジェリスコイ
コーディネーター／福島明夫（青年劇場）

3. 現代演劇に関する調査研究事業

- (1) 正会員団体上演記録の調査研究
- (2) 正会員団体上演記録(学校公演)の調査研究
- (3) 演劇鑑賞団体等の公演実施状況の把握
- (4) 上記の調査を基にした研究会の実施
- (5) 演劇による社会的包摂プロジェクト

～芸術水準の向上と鑑賞機会の充実により、現代演劇の振興発展を図る～

(文化庁「戦略的芸術文化創造推進事業」)

国が提示した芸術文化振興における課題を解決し、我が国の芸術水準の飛躍的向上と優れた実演芸術の鑑賞機会の充実を図る事業。平成 26 年度からスタート。

制作／公益社団法人日本劇団協議会

『芸術団体における社会的包摂活動の調査研究』

劇団・劇場が社会的弱者向けにどのような活動を行い、どのように社会課題を解決しているのか事例を研究し、芸術団体の社会的包摂活動が社会に与える影響を SROI（社会的投資収益率）の手法を用いて探る事業。平成 28 年度にも『芸術団体における社会包摂活動の調査研究』を実施したが、今年度は 1. 現代演劇に関する公演、普及啓発事業 (5) 演劇による社会的包摂プロジェクトのワークショップとリンクして調査する。

4. 現代演劇に関する広報事業

- (1) 機関誌『join』の発行(年2回)
- (2) 日本劇団協議会ホームページの更新管理(随時)

そ の 他

- (1) 会議等・懇談会の開催および折衝
- (2) 「日本劇団協議会ニュース」の発行（随時）
- (3) NHK・民放各社との出演料の交渉、制作会社との折衝
- (4) 文化庁新進芸術家海外研修制度への協力
- (5) 他の団体との交流提携
芸術家会議、公益社団法人芸能実演家団体協議会（芸団協）、
一般社団法人映像実演権利者合同機構（PRE）、
東京都芸術文化団体協議会（都芸協）、全国演劇鑑賞団体、
日本劇作家協会、日本演出者協会 ほか